

# 元陸自幹部・看護師 足寄に老人ホーム開設

【足寄】元陸上自衛隊幹部で、看護師として海外にも派遣された経験を持つ鐘ヶ江(かねがえ)紗里さん(36)。今年7月、足寄町内で住宅型有料老人ホーム「アニカ足寄」をオープンさせ、末期がんや神経難病など、医療依存度が高い入居者に寄り添う毎日を送る。自衛官時代の病院勤務や海外派遣、退官後のアフリカでの経験などを踏まえ、たどり着いた足寄の地。「自分らしく生きる」を支える」とする使命を、全うする覚悟だ。(北雅貴)

## 鐘ヶ江紗里さん(36)



国際緊急援助隊の一員としてネパールに派遣された鐘ヶ江さん。「何もできなかった」との思いが新たな進路の契機になった

年に幹部の2尉の地位を捨てて陸自を退官。東京医科歯科大学保健衛生学研究所で5年間、災害看護学を専攻した。

シエラレオネは生と死が身近に

異例の速さで「アニカ」開設

残された時間を「自宅のように」

【アニカ足寄】は、町中心部の「在宅療養支援診療所」ホームケアクリニック(あつま)の2階にある。末期がんや難病を抱える患者らが、残

れた時間を自宅に近い環境で過ごすことができる介護施設で、最大28人が入居可能だ。

「何もできない」

2007年に自衛隊中央病院高等看護学院(東京)に入隊した。3年後には一般患者も受け入れている同病室に配属。看護師として集中治療室(ICU)で勤務した。

ICUでは頻りに訪れる患者の死。先輩に「人の死に慣れるのが怖い」と泣いて訴えたが、「あなたが一生懸命に見ていたら、その人は最期の最後まで生きられる」と言われて、はっとした」と述懐する。

「縁もゆかりもない地域だが、挑戦しよう。今年3月にアニカホスピス株式会社を設立。十勝総合振興局や足寄町、とちか広域消防局などの協力を得て、「異例の速さ」となる7月中旬に、開設にこぎ着けた。

## 海外派遣、災害看護学 経験重ね「地方で挑戦」



今年7月に住宅型有料老人ホーム「アニカ足寄」をオープンした鐘ヶ江さん。「自分らしく生きる、を支える」をミッションに掲げる

「アニカ足寄」は、町中心部の「在宅療養支援診療所」ホームケアクリニック(あつま)の2階にある。末期がんや難病を抱える患者らが、残された時間を自宅に近い環境で過ごすことができる介護施設で、最大28人が入居可能だ。

「営利企業という言葉は大嫌いだ。株式会社は金儲けが目的ではなく、事業目的を達成するための組織にすぎない。営利はただの継続の手段であるべきだ。」



鐘ヶ江さんは西アフリカのシエラレオネ共和国で、現地の人たちと交流しながら研究を重ねた。



電子版に  
関連記事